

ただいま!

— あたたかな第2の家庭を目指して —



たくさんの 人との出会いから...



お姉さんはもちろん、男性職員のいない浜田ではお兄さんたちが大人気でした! たくさん遊んでもらえて楽しかったね♪

これをきっかけに将来、素敵な先生になって再開できると嬉しいですね。



コロナ禍になり、外部へ出かける行事や外部講師を招いての活動が制限される中、今年は感染防止対策を徹底しながら初めて学生ボランティアの受け入れを行いました。7月下旬から8月の夏休み終了まで延べ13人の高校生ボランティアを受け入れ、普段の保育から夏祭りといった特別な行事のお手伝いなどを行っていただきました。

初日は緊張してなかなか話しかけられなかった子ども達ですが、元々人と関わるのが大好きな達しっこの子たちは、徐々に慣れ「今日はお姉さんたちが来る日?」と毎日ワクワクしながら待つ子や、「明日もまた来てね!」と帰り際をお願いする子など、一緒に遊んだり行事を楽しんだり、今までにない『夏の思い出』が出来たようです。

地域の方を始め、多くの人と関わりを持つことは、子どもたちの成長の糧となります。まだ元の生活様式には戻れないものの、感染防止対策を行いながら、今後も人との関わりを大切にしていきたいです。子どもたちには、指導員だけではなく多くの人に見守られ、元気に成長して欲しいと思います。

(指導員 渡辺 早貴)



人との関わりを

大切に

はだしっこ
クラブ
(浜田)



コロナ禍 の 学童保育

保護者会行事

保護者会活
動もほぼ何も
できなかった

三年でしたが、令和三年「こんな形で実施してみた」というご報告を今年いただき、会長同士で共有させていただいた文章の一部を、ここに紹介させていただきます。



学童保育のおやつ

学童保育にとって『おやつ』は、行事や季節に特化したおやつの日もあれば、おしゃべりしながら食べるコミュニケーションの場でもあり、もちろんお菓子そのものを楽しみにしてくれていたり、夕食までの栄養補給の意味もあったり、時には手作りおやつに心躍らせてくれたりと、一言では言えない様々な要素を持っていました。それを重々知りながらも、長らく休止し持ち帰りのおやつとなり、大変ご迷惑をおかけしました。

現在、テーブルや換気に関する機器も整えて、各学童の規模や状況に合わせて実施していますが、今後もインフルエンザ等も含めて、感染リスクが高いと思われる時には、今までの経験を活かして対応していきたいと思えます。

各学童の子どもたち

この三年ですっかり変わってしまった子どもたちの生活。でも、学童内では変わらずに工夫した行事や遊び、体験などの生活があります。

そんな普段の生活から『子どもたちが輝いていた、ステキな瞬間と感じた場面を切り抜いて、表紙も含め16学童より紹介してもらいました。』



『親子レクについて』

『紙飛行機大会』

若浜第1学童保護者会長 奥山博哉様より

ウイズコロナも三年目となり、子どもたちに強いる我慢もなかなか解除されない状況ですが、我々保護者が下向きな所を子どもたちに見せるわけにもいかない！出来ない・やらないではなく、出来る事を探してみようをコンセプトに指導員の先生方とも何度も協議し開催にこぎつけました。(中略)子どもにコピー用紙を配付して、家庭で保護者と一緒に紙飛行機を自作チャレンジしてもらい、目的としては、紙飛行機を児童が自分で折れるまで補助してもらって、各家庭でのNo.1を作成！



表彰式：奥山会長より

手先の器用さの向上、親子で一緒に折ることで会話も生まれ、カラーリングすることで個性を養いました。参加した子どもたちの一体感も熱のあるものになりました。学年ごとに一位を決め、グラウンドへ出て決勝戦！負けて悔しがる児童もいましたが、みんな友だちの応援に一生懸命でした。決戦も終わり表彰式に移ると、誇らしげに紙飛行機を見せてくれる児童に、嬉しくなりました。ビジュアルNo.1コンテストも投票式で行い、友だちの作品を認め合う事もできました。開催前は低学年しか喜ばないかと不安もありましたが、結果、指導員と児童のみの参加でコロナの心配も低く抑えつつ行う事が出来、子どもたちからも「次は負けない！」「もっととぶやつ作るぞ！」「またやりたい！」など意欲的な声も聞きました。(後略)

できない中でも我が子と向き合い、そしてその仲間と楽しむことに思いを馳せた行事でした。今後は少しずつ行事や親子レクもできるようになる事と思います。その際は、子ど

もたちの一体感を高めていくだけでなく、いっしょに保護者同士の「絆」を育み、さらには学童保育をより良く動かすための潤滑油となっていたらと思います。

笑顔いっぱい 汗いっぱい 運動教室

みさと
クラブ
(平田)

8月3日、cross・overの伊藤徳明氏を講師に、楽しく遊びながら運動能力を高める運動教室を開催しました。

この暑さの中、1時間も持たないのでは？と心配していましたが、楽しい時間はあっという間に過ぎるもの。どの子も、汗をたっぷりかき、満足げな表情でした。

三角コーンを逆さまに持ってボールをキャッチしたり、飛んできたボールを輪っかに通したり、距離感が鍛えられます。二人で寝転んでボールを足で受け渡ししたり、二人で体を捻ってボールを左右に回転させたり、二人の気持ちを合わせることも大事でした。一番人気は、爆弾ゲーム。丸めた新聞紙を敵の陣地に必死に投げ込んでいました。

ふだんやらない動きがいっぱいで、難しいと言いなながらも、チャレンジする楽しさを味わった2時間でした。

(指導員

佐藤 貴子)



折り紙道場！

にこにこ
クラブ
(松陵)

松陵学童には自分で工夫し、本、YouTubeなどで調べて『鱗付きドラゴン』(?)などオリジナルの細かい折り紙の作品を作る4年生がいます！

その折り紙作品を見て折り方を教わる子ども達との間に、学年を越えて『師匠』と『弟子』の関係が生まれました。そこから、みんなで新しい技を教え合いドン・ドン技を高め合い…まるで『折り紙道場』のようになりました！

師匠となる子どもは「まだまだ上のレベルの子はいる」とストイックな職人のように話をし、弟子の子ども達も「鱗をつけるのは簡単！」「教えてもらって折った！」と緻密な作品を見せ指導員はいつも驚かされています！！

子ども達の間に折り紙を通じてお互いに教え合い高め合う関係が築かれつつあるようです。

(指導員

八木澤 英理子)



優しい 本屋さん

ひまわり
クラブ
(泉第1)

「本棚増やしたい！」

6年生のこの言葉から始まった「目指せ本屋さん！」の本棚作り。基礎的な組み立て部分は指導員が手掛け、ヤスリ掛けや本の陳列・整理は6年生にお任せ☆



ヤスリ掛けでは、「ここ絶対頭とかぶつかるから、めっちゃ丸くしよ」などの優しい気遣いがあったり、「俺、ヤスリするの向いてるわ」と自分の才能を開花させた子も。放課後二日間掛けてやすり掛けを完成させた。その後は本の陳列。人気のあるコミック、下の学年が取りやすいように本を並べ、新刊コーナーを作る姿が、とても優しくて頼もしい本屋さんだなと、指導員もほっこり。

そんな優しい本屋さんの思惑通りに、子ども達は、「ただいま〜今日は新刊出てるっかな〜♪」と本棚チェックは日課になっていたのです。

(指導員 土岐田 瑞希)



飛んでけ!

にじいろ
クラブ
(泉第2)

夏休み。室内遊びは制限も多く、かといって暑すぎて外へも行けず…何か皆で楽しめることはないかと体育館での紙飛行機大会を企画。大会といっても、その場で即興で。子どもの中には「えー。紙飛行機? 遊びたい」と難色を示す子もいましたが「一回だけ一つだけ作って飛ばしてみよ」とお願いすると「しょうがないな」と折り折り。ところがお小言を言いながらも折り終わり各々テスト飛行を開始すると子ども達の目がキラキラ。やはり広い体育館「飛ばしたい!」スイッチが入ると、上手に飛ばしている子に折り方を聞いたり、更にアレンジを加えたり。全員ステージの上に列に並び練習を三回してからいざ本番! 「3・2・1」のカウントダウンに緊張と真剣な表情の子ども達。「Go-」の掛け声には『飛んでけ!』がつまっていました。

(指導員

佐藤 久美子)



簡単!

楽しい!

ボンドシール

みすみっこ
クラブ
(南平田)

外遊びが大好きなみすみっこクラブの子ども達ですが、天気の悪い日が続いた時、簡単な製作をしてみようと思い、ボンドシールを作ってみることにしました。作ってみると、思いのほか大ブレイクし、ボンドが乾くまで待ち遠しくて

「シールを見せて!」

「今どんな感じになっている?」

と気になって仕方がない様子。

「2回目やっても良い?」

「もっと作りたい!」と気付くと指導員室前に行列が出来ている日々(笑)慣れてくると、上級生が『ボンド会社』を設立し、空になったボンドを詰め替える部署、ボンドを乗せられない子へサポートをしてくれる部署ができ、作っている最中はお互いに教えあったり、声を掛け合ったりと異年齢での交流も多く見受けられました。

普段は外遊びが大好きな子ども達でしたが、

この製作期間は晴れている日も『ボンドシールつくりたい!』と大好評でした。

(指導員

栗原 美里)



二重とび、

できたー

あおぞら
クラブ
(富士見)

去年から始めた「がんばりカード」

『今年はしないの?』という子ども達の声から今年もすることに。様々なことに挑戦してほしい、縦のつながりも増えてほしいという願いから項目はけん玉・こま・なわとび・あやとりなどに決定。やりたい人だけすることにしましたが、できたらシールを貼ることが楽しいのかチャレンジする子が多く、今までできなかったけん玉の技ができるようになった1年生もいて、子ども達の集中力に驚かされます。

中でも大きな壁となるのが「二重とび」。下の学年の子にはかなり難しいようです。

しかし、何回も何回も本当に毎日あきらめずに挑戦しているうちにコツを掴んで1回とべるようになって、あっという間に30回クリアする子も。できなかったことができるようになった喜びを共感し、がんばる姿はステキだなあと思いました。



(指導員 佐藤 久美子)

大作いっぱい！ 大好きLaQ（ラキュー）

なかよし
クラブ
(亀ヶ崎第2)



男子も女子も大好きラキュー！付属のガイドブックや学童にあるラキューの本を見ながら、毎日に大作を仕上げている子、独自のものを作り上げる子、クリスマスプレゼントで新しく「ラキュークリスタル」が入ったら、「きれい！きれい！」と喜んで、宝箱やバラなどを作り出す女の子、手こずっているのを見かけて手伝ってくれる学年の子。見ていて微笑ましいですね！そんなこんなで、一時はラキューブーム到来。あちこちで、バギーカー・トラック・昆虫・ワニなど作品作りに花が咲きました。出来上がったら、「写真撮って！」の声もあがり、指導員も記念撮影に大忙し。『今月のラキュー作品』として、月々替えて掲示すると、みんな誇らしげに楽しそうに見ていました◎

(指導員 齊藤 英美)

座卓で ピンポン♪ 夢中です!!

すまいる
クラブ
(松原第2)



12月22日、少し早めのクリスマスプレゼントの中に『卓球セット』を発見！雨で外遊びが出来ない日が続く、ウズウズしていた子ども達からは歓声が上がりました。
普段使っている座卓を繋げ、ネットをセット。即席卓球台の完成です。通常より低い位置での打ち合いになるため、絶妙な力加減が必要となるようです。少々物足りなさがありつつも、それによって低学年と高学年が一緒に楽しめるポイントにもなっています。

宿題を終わ

らせる。「卓球しよっ」と誘い合う声飛び交います。そんなに激しく動いた？という程汗をかく子ども。自分たちでルールを決め、順番を決め、連日盛り上がっています。中々、外遊びの時間や思い切り体を動かす室内スペースが確保出来ない中のプチスポーツ。ご家庭でも楽しめそうですよ♪

(指導員 小山 彩香)

自分だけの オリジナル クリスマスツリー

わくわく
クラブ
(若浜第1)



子ども達が好きな制作活動。今年のクリスマス制作は、かわいい柄の布、ビーズ、モールで作るツリーです。試作のツリーを見た子ども達からは「いつ作るの？早く作りたい」と、楽しみにしている様子が伝わってきました。
一人一人好きな布を選び配色を考え、一枚一枚円錐の厚紙に貼っていきます。初めは、「どうやってやるの？」と言っていた子ども達でしたが、仕上がっていくにつれ、目の輝きが違ってきて、子ども達からどんどんアイデアが広がり、あっという間に個性溢れる素敵なツリーが完成しました。最後にサンタさんかトナカイのフレームに、子どもの顔写真を入れ、ツリーにかけて出来上がり！
数日間、学童の玄関ではキラキラツリーがお出迎え。お迎え時間「わー綺麗だの。上手だの。」と作品を褒めてくれる保護者の言葉に、子ども達の笑顔があふれました。

(指導員 佐藤 みゆき)

絵馬作り！
 良い年に
 なりますように…



**きらめき
かがやき
クラブ**
 (宮野浦第1・第2)

冬休みの制作活動として、絵馬作りを行いました。初めて絵馬に願い事を書く児童も多く、「何を書こうかなあ…」と悩んでいる子ども達。みんなが書いた絵馬を見てみると、『コロナが早くおさまりますように』『家族がコロナにかかりませんように』など、コロナ関連の願いごとが多いことに驚きました。

子ども達にとってコロナが生活の中で大きな影響を与えているのだと実感するような願い事でした。それでも『野球がうまくなりますように』『いいことがたくさんありますように』『金運が上がりますように』『など楽しい願いごとでもいいっぱい♪』完成した絵馬は、玄関に作った「きらめき神社」に飾りました。保護者の皆さんにも『なかなかできない体験が出来て良かった』と好評でした。



(指導員 大澤 奈々恵)

上級生企画！
 愉快な
 クリスマス会

**たぶの木
クラブ**
 (琢成)

12月恒例の『たぶの木クリスマス会』ですが、6年生が主体となり、企画・準備から司会進行も努めます。何も知らない子ども達は「何をするのかな?」とドキドキ…。体育館へ移動した後、6年生の「今からけいドロをします!」のアナウンスに皆大盛り上がり!サンタ姿に扮した警察役の6年生が駆け回ります。続いて学年対抗のドッチボール大会! 普段は体育館で遊ばない子ども達はしゃぎで参加していました。保育室に戻るといつもと様子が違う? 三つめのお楽しみ、クイズラリーがスタート。「これは絶対③だよ!」「次のクイズどこ?」と、これはまた大盛り上がり! 豪華景品を目指し、学年の垣根を越え知恵を出し合いました。表彰式のさなか一本の電話が…。なんとサンタさんからクリスマスプレゼントが届きました! みんなが頑張る姿を見てくれたのかな? ちょっと普通とは違ったクリスマス会、来年も楽しいクリスマス会にしようね!



(指導員 齋藤 航太)

**ハロウィン仮装は
大盛り上がり!**

**わかっこ
クラブ**
 (若浜第2)

コロナ禍でも子ども達が楽しめるよう、親子レクの代わりになる行事を親子レク係の皆さんから企画していただき、学校が代休日の一日保育日に、児童のみで初めてのハロウィン仮装イベントを行いました。



子ども達は、イベントに向けて、数日前から親子で仮装の相談や準備をしていたこともあり、当日は好きなキャラクターの手作りお面帽子をかぶる子に、お化けやミイラ、可愛い魔法使いなどに変身!! 仲間同士なりきりで写真撮影会をして大盛り上がりでした。そして、この日は「トリックオアトリート!」

の合言葉を上学年に伝えた子からお菓子 がもらえる日とあって、下学年は次から次へとお菓子配り中のお兄さんお姉さんに声を掛けるのに大忙し! 笑顔がいっぱいの楽しいイベントになりました。

(指導員 加藤 舞子)



喜んでくれると
いいな♡おひさま
クラブ
(松原第1)

松原第一学童では、勤労感謝の日のプレゼント制作をしました。お家の方へ日頃の感謝の気持ちを込めてオリジナルの「お手伝い券」を作っていました。

初めは恥ずかしいのか嫌だという子もちらほらいましたが、作り始めると自分が出来ることで、お家の人が喜ぶことを考えながら一生懸命作っている子が多かったです。「肩もみ券」や「お風呂そうじ券」、「玄関の靴をそろえる券」など思い思いの作品が出来上がり、お迎えの時に

お渡しするとお家の方も子ども達も恥ずかしそうでも笑顔がいっぱいでした。こういう機会だけでなく、普段の生活の中でも自分にしてもらえること

が当たり前と思わず、周りの人

達を思いやる心や感謝の気持ちを持って育って

いってほしいなと思います。みんなに優しい子になってね♡

(指導員

土田 友佳)

アロマ芳香剤
作りに挑戦!よつば
クラブ
(亀ヶ崎2)

夏休みの製作活動で、アロマ芳香剤作りを行いました。まずは瓶の中に保冷剤の中身を絞り入れ、好きな色の絵の具で保冷剤に色付けします。班毎に教え合ったり協力し合ったり頑張って作る子どもたち。高学年が一年生のペースに合わせて一緒に作ってくれている姿が印象的でした。様々な匂いのアロマオイルの中から自分の好きな匂いを選ぶ際は、

「どれにしようかな?」

「ぜんぶいい匂い!」

など素敵な匂いに囲まれて大興奮の様子でした。

最後にビー玉やビーズを入れて飾り付けをして完成!完成した作品をみんなで見せ合いながら、

「○○ちゃんのもいいね!」などとお互いの作品を褒め合っていました。翌

日には、「玄関に飾ったよ!」

「お母さんにプレゼントしたよ!」などと嬉しそうに報告してくれて、大満足の様子の子どもたちでした。

(指導員 齋藤 あすか)



ご寄付

ありがとうございます

◎田宮 和朗 様 (酒田市みずほ)

毎年のご寄付、ありがとうございます。

今年度もコロナ感染予防対策に関する物の購入に充てさせていただきました。

◎「酒田小さな親切の会」様

(前田 直己 会長)

市内25学童保育で構成される『酒田市学童保育連絡協議会』会長 杉山道弘へ、左記の物品をいただきました。

車椅子 1台

手指消毒器 2台

ブランターセット 3台

ティッシュペーパー 60個

車椅子は市内25学童内で

ケガのため不自由な学童生活を送る場合等、貸し出すように手配しております。

どうもありがとうございました。



■イオン黄色いレシートキャンペーン

R4年度
イオンからの贈呈額は
39,600円でした

このキャンペーンでは、皆さまより協力いただいたレシートで、1%還元されギフトカードをいただいて、折り紙・サインペン等購入し、指導員を通して各学童へ配り活用しております。ご協力、ありがとうございました。

だ〜ちゃんの



親子
クッキング〜



— 材料 —

- A) 上新粉 220g
砂糖 40g 抹茶 1g
食紅 0.5g 竹串 8本
熱湯 150ml
茹で用お湯 適宜
冷やす用冷水 適宜

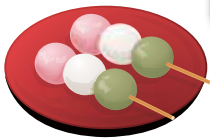
— 作り方 —

A) をボールに入れてかきまぜ、3等分にわけ
る…耳たぶくらいの硬さが目安です。一つに
食紅、一つに抹茶を入れてかきまぜる。それ
ぞれ8つに分けて一口大にまるめる。鍋にお
湯を沸かし5分程ゆで、冷水で冷やす。
竹串に刺したら完成。

抹茶がない
ときは、抹茶入り
緑茶（百円程度）
でも代用でき
ます！

〈豆知識〉

三色の由来は、
赤『春』白『冬』緑『夏』
を意味しています。
秋がないのは、（食に）
飽き（秋）ない！
だとか？



こんな時、どうしますか？

携帯のけたたましい“緊急速報メールのアラート”
音に、大人も何をすれば良いのか、慌てる事はないま
せんか？そこで、危機管理課へお尋ねしてみました!!

防災について親子で話し合おう

酒田市総務部危機管理課 危機管理主査 後藤和紀様より

○地震の場合

まずは、落ち着いて、机の
下などへすぐにもぐり、倒れ
てくる家具や落下物に注意し
てください。また、室内に危
ない場所はないか、家具は固
定されているか、家庭内の点
検も行いましょう。また、津
波に対する注意も必要です。

災害はいつ・どこで・どん
な時にやってくるかわかりま
せん。今回は、地震、台風、
洪水など、災害の種類ごとに、
具体的に「どう行動すれば良
いか」親子で話し合いしまし
ょう。

○避難先や家族間の連絡手 段の確認をい ざというときの

避難先や、家族
間の連絡手段を
確認しましょう。



タイトルコール録音



ラジオに
出演!

酒田エフ
エムラジオ

放送より、「おしえて歯医
者さん!」というタイト



平田で録音

○台風や豪雨、洪水の場合

事前にハザードマップで浸水
深や避難所を確認しましょう。
また、大雨や大雨後は水路や河
川に近づかないようにしまし
ょう。

特に休日、
遊びに行ってる時に
何か起きた場合、通る道
や集合場所など、一緒に
考えるきっかけに
なりますように…。



あとがき

新型コロナウイルスの感
染が始まって三年。
世の中は段々と日
常を取り戻そうと
いう動きが活発化
してきています。
学童の運営にお
いても、環境の変
化を踏まえつつも、
慎重かつ臨機応変
な対応が必要と思
います。
今後ともよろしく
お願い致します。